

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	道路区域線図作成事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	道路管理課			
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備		主管課長	遠藤 茂			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	道路境界未確定のD I D地区における市道接道者	意図	道路境界査定により、道路と民地との境界を明確にして、道路区域線図（一連の道路境界確定図）を作成し、土地取引及び災害復旧に寄与する。
事業内容	・道路境界が確定していないD I D地区について、境界立会いを実施して道路区域線図を作成して管理する。			
事業開始から現在までの状況変化	・昭和63年度から平成13年度までは市単独事業で実施していたが、平成21年度より国、県の負担金事業として、南流山地区及び西初石4丁目地区を実施し、今年度は昨年度に引き続き若葉台地区を実施した。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		実施区域	8	11	11	ha	
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・官民境界を確定されることで、円滑な土地取引及び災害復旧に寄与できるが、個人の財産を確定させるため、理解を得るのが困難である。
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		20,550,946	26,142,139	10,317,400			
事業費(b)(円)		2,962,946	4,921,139	3,452,400			
うち一般財源		775,946	1,276,139	3,452,400			
職員給与費(c)(円)		17,588,000	21,221,000	6,865,000			
人役・職員(人)		2.00	2.00	1.00			
人役・再任用(人)		1.00	2.00				
人役・臨職(人)		1.00	1.00				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	・民間測量についても、地籍調査同等の成果扱いとなるため事業の効果についてPRに努める。	取組の課題	・事業の継続的な実施をおこなうため財源が確保できるよう情報収集に努める。
今年度(H28)に実施した取組	・民間測量事業者へ事業のPRを行った。 ・財政状況（歳入減）により事業を休止した。	今後の改善計画	・事業再開に向け財源の確保に努める。